

ザッパ・日伊ビジネスグループ・イタリア側会長、福原 同日本側会長、佃 同日本側副会長、ウルソ経済振興省副大臣、ヴァッターニ・イタリア貿易振興会会長、御来賓の皆様、第21回日伊ビジネスグループ会合」が開催されるに当たり、一言ご挨拶させていただきます。挨拶に先立ちまして、今年4月にラクイラで発生した大地震による被害者のご家族に対し哀悼の意を表し、亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。今回開催される「自然災害管理ワーキンググループ」の議論によって、自然災害管理の分野での協力が進み、効果的な事前予防や被害者救済に結び付くことを期待しております。次に、「日伊財団」の創立10周年に対して、心よりお祝いを申し上げます。引き続きヴァッターニ会長のリーダーシップの下、日伊関係の一層の発展に向けてご貢献いただけることを期待しております。

さて、私たち日本人のイメージするイタリアとして多くの方が Fashion (La Moda)・Food (La Cucina)・Football (Il Calcio)・Ferrariの4Fを連想するのではないのでしょうか。FimeccanicaもFですが、ローマ帝国やルネッサンスの歴史や芸術、ミラノを発信源とする美的感覚あふれるファッションや食文化は、多くの日本人を魅了しています。

世界最高レベルのサッカー・リーグであるセリエAでは、かつて中田英寿、中村俊輔らの日本代表選手がプレーし、最近では若手有望株の森本貴幸選手が開幕戦でゴールいたしました。最後のフェラーリはどうでしょうか。フェラーリに代表されるイタリアの高級スポーツカーは、抜群のスタイルが世界中の人々を魅了してやみません。イタリアの職人気質のスポーツカー作りは、日本の伝統工芸産業と相通じるものがあります。ただし、フォーミュラ1を始めとする輝かしい戦歴が示すように、その類い希なる性能を裏付けた技術がまた、人々を魅了していることに我々日本人はあまり気づいていないのではないのでしょうか。

「日伊ビジネスグループ」は20年以上の長きにわたり、日伊経済交流の礎として日イタリア経済関係の維持と発展に大きく貢献しました。また、私たち日本人が気付いていなかった技術の国イタリアを日本に紹介し、日本とイタリアのビジネス交流を活性化させました。先程は日本人がイメージするイタリアについて話しましたが、日本とイタリアの共通点は何でしょうか。日本とイタリアには2つの大きな共通点があります。今回のワーキンググループのテーマにある「自然災害」と「エネルギー」です。両国は共に、火山や地震が多い国として有名であるとともに、エネルギー資源の乏しい国として知られています。両国は必要とするエネルギーの約8割を輸入に頼っており、純国産エネルギーとなり得る再生可能エネルギーの開発と導入は重要な課題です。

では、これらの共通点は弱点でしょうか。例えば、自然災害を引き起こす可能性のある火山は地熱発電のエネルギー源となり、国土のほとんどを海に囲まれた両国は風力発電の設置に適しております。イタリアは太陽の国と呼ばれ、サンサンと降り注ぐ日光は太陽光発電にとって最適です。新たなエネルギー資源の開発は、地球温暖化や枯渇する化石燃料からの脱却という観点から世界中で注目されています。新エネルギーに適した両国は、弱みを強みに変えて、新エネルギー分野のみならず、環境分野でも世界をリードできます。

第一歩として、今年5月にイタリアで開催されたG8エネルギー大臣会合では、中国やインドなどの新興国を含めた主要なエネルギー消費国による省エネへの取り組みを支援する国際協力の枠組みであるPEEC、「国際省エネルギー協力パートナーシップ」の基本枠組みに合意しました。

現在、日本と欧州の産業界では、関税のみならず、イノベーションや環境など幅広い分野での制度調和を含めた、日・EU間の経済統合の強化が議論されています。今年5月の日・EU首脳会談で、双方の首脳から日・EUの一層の経済統合の強化に向けた協力の意図が表明されたことは、日・EU経済関係における大きな前進です。日本とイタリアのみならず、世界経済の中心であるEUと日本が一層の関係強化を図ることにより、世界の持続可能な発展に大きく貢献できます。

一つの国家を点とするならば、二国間関係は点と点を結んだ線であり、線を太く強固なものし、線を面にしていくことで真のグローバル化が達成できます。

日本とイタリアは、お互いに惹かれ合い、学び合う多くの共通点を有し、「アモーレ」即ち相思相愛が両国を繋ぐ線を太く強く結びつけています。

今月から、イタリアの多様な魅力や潜在的能力を我が国に紹介する「日本におけるイタリア2009秋」の下、多数のセミナーや催し物が盛大に開催されます。

イタリアの新たな魅力が見い出されると共に、両国の先端技術が融合し、世界をリードする新たな可能性に結び付くことを期待しております。

本日は、ナポリターノ大統領閣下もご臨席され、ご挨拶されると伺っております。大統領閣下からご挨拶いただけることは、日伊関係がいかに重要であるかを表すものであり、本会合メンバーの皆様の日伊関係強化に対するご尽力の賜物であります。

最後に、ザッパ、福原両会長をはじめ、「第21回日伊ビジネスグループ会合」の開催に向けた関係者の皆様のご尽力に敬意を表しますとともに、両国産業界の関係がお互いの社会や文化への相互理解に根ざしつつ、更なる発展を遂げることを祈念し、私のご挨拶とさせていただきます。